

国民健康保険事業特別会計 令和元年度決算の概要

ポイント

◎保険税収入の減・保険給付費の増

- 被保険者数の減少 39,085人（前年度比△1,105人、△2.7%）
- 【歳入】 ・保険税収入 △103,935千円（△2.8%）
- 【歳出】 ・保険給付費（歳出の6割超） +176,410千円（+1.6%）

◎一般会計繰入金の減

- 決算額：20億6千万円（前年度：21億8千万円）
- 歳入の都補助金が予算よりも増となったことや保険税収入の伸びにより一般会計繰入を減額し、歳入歳出の均衡を図った。

◎医療費適正化に向けた取組

- 第二期データヘルス計画に基づく保健事業の実施（平成30～令和5年度）
- 国保だより特別号の発行（7月）、戸別配布による制度の周知
- 人間ドック等利用費補助の周知による補助件数の増 853件（+18.5%）
（人間ドック及び脳ドックの利用者へ最大2万円）

◎財政健全化に向けた取組

- 一般会計繰入金の段階的な解消に向けた協議を行い、令和2年度の税率改定について承認され、国保財政健全化計画の策定及び、国民健康保険条例の改正を行った。

歳入

保険税	103,935千円の減（△2.8%）
・徴収率	85.0%（+0.7 ㊦）
都支出金	180,382千円の増（+1.6%）
・都補助金の増	（保険給付費の増による普通交付金の増）
繰入金	120,000千円の減（△5.5%）
・一般会計繰入金	20億6千万円（前年度：21億8千万円）
・法定外繰入	1,142,680,768円（前年度：1,272,242,984円）
・一人当たり法定外繰入	29,236円（前年度：31,656円）

基礎データ

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
被保険者数（年度平均）	39,085人	40,190人	41,788人
現年度調定額（一人当たり）	91,193円	90,752円	84,988円
徴収率（全体）	85.0%	84.3%	81.9%
（現年度分）	93.5%	93.7%	93.3%
（滞納繰越分）	35.3%	34.0%	31.2%
一般会計繰入金	2,060,000千円	2,180,000千円	2,450,000千円
法定外繰入額（一人当たり）	29,236円	31,656円	38,050円
基金残高	401,577千円	351,577千円	201,577千円
保険給付費（一人当たり）	281,479円	269,350円	263,671円
特定健診受診率	47.2%	48.6%	46.3%
特定保健指導実施率	20.4%	15.9%	14.4%
ジェネリック医薬品普及率	76.6%（01年11月）	73.1%（30年11月）	67.8%（29年11月）

歳出

保険給付費	176,410千円の増（+1.6%）
被保険者数は減となる一方、一人当たり医療費は引き続き増加傾向	
・保険給付費（一人当たり）	281,479円（+4.5%）
国民健康保険事業費納付金	189,957千円の減（△3.4%）
小平市の医療費水準や所得水準に応じた、標準的な保険料相当額	
東京都全体として、被保険者数の減により必要額が少なかったことによる減	
保健事業費	1,662千円の減（△0.9%）
・特定健診	12,769人（前年度：13,479人）
・特定保健指導	323人（前年度：254人）
・集団健診	652人（前年度：561人）
・人間ドック利用費補助	853件（前年度：720件）
・糖尿病性腎症重症化予防事業	参加11人
・ジェネリック医薬品差額通知	7,896件（10回）
・受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診 訪問指導）	48人